

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 八田小中学校

八田小学校



大望の鐘

【学校教育目標】

豊かな心をもち かしこく たくましい 子どもの育成

令和6年6月26日 NO.3 校長 石原 裕



私たちにしかない「最高の思い出」をつくった修学旅行！



5月29日（水）～31日（金）の2泊3日の日程で、6年生43名が修学旅行に参加しました。台風1号が発生し、天候が心配されましたが、大きな影響もなく、全員参加のもと実施することができました。

1日目、午前の見学地である建長寺や円覚寺では、お寺の大さに驚くとともに、国宝や重要文化財に直接触れ、歴史の重みを感じ取ることができました。昼食後、鶴岡八幡宮にお参りし、三代将軍実朝が暗殺された階段や大イチョウなどを見学した後は、班別自主見学となりました。事前学習で調べてはいたものの、実際に知らないまちを歩くのは不安があったと思います。しかし、GPS携帯をお守りに、友だちと相談しながら、計画に基づいて見学地やお土産を購入して、ゴールである高徳院に無事、集合することができました。夕食は、クルーズ船（サザンの曲に出てくる「マリンルージュ号」）でのディナーでした。横浜港の景色を楽しみながらのバイキングは、格別だったようで、デザートは完食でした。宿舎であるニューオータニからは、横浜みなとみらいの夜景が色鮮やかに目に映りました。



2日目、国立科学博物館では、班ごとに、360度全てがスクリーンであるシアター360°で「人類誕生の歩み」を鑑賞したり、江戸時代のミイラを見学したり、時間を目一杯使って、見学・体験をしました。上野動物園では、タイトなスケジュールの中、パンダ、サル、ホッキョクグマ、ゴリラ等たくさんの動物を見学することができました。昼食後には、国立競技場近くのオリンピックミュージアムを訪れ、オリンピックにまつわる展示品を見学するとともに、アスリートのバーチャル体験をして、記録にチャレンジしました。国會議事堂では、長い階段を上がり、参議院の本会議場を見学しました。

社会科で学習した国会について、実際に見学してみると、その大きさや豪華さに圧倒されました。夕食の後は、ホテルに隣接する東京タワーでの夜景を楽しみました。ルックダウンウィンドウから覗く首都の夜景とともに、タワーのイルミネーションがとてもきれいでました。

3日目は、朝から雨でしたが、八景島シーパラダイスに着き、海



獣のショーや水族館を見学しているうちに、雨が上がってきました。昼食からは、班別行動になりましたが、メンバーのレベルに合わせた乗り物に乗ったり、お土産を購入したり、パーク内を満喫していました。

この3日間は、**学校では経験できない貴重なことを学んだ旅行**になりました。また、友だちへの思いやり、お世話になった人への感謝を行動として表していた場面がたくさんありました。今回の経験や思い出を糧に、**学校のリーダーとしての力をより一層発揮していってほしい**と思います。



サポートティーチャー大活躍！



PTA総会で保護者にお伝えした「**サポートティーチャー**」の活動がスタートしました。

2年生は6月から生活科の学習で「**まち探検**」に出かけています。これまで、10日（月）に野牛島地区、17日（月）に六科地区の2つの地区を探検しました。

野牛島地区では、能蔵池、ふるさと文化伝承館、樹園を見学しました。六科地区では、六角地蔵、八幡神社、芦安観光を見学しました。野牛島地区の探検には3名の保護者、六科地区の探検には4名の保護者に参加していただき、移動の際の安全の見守りや休憩地での子供たちの指導をしていただきました。

3年生は、12日（水）に運転免許センターで**自転車教室**を実施しました。午前中が1組、午後が2組となりましたが、暑い日にもかかわらず、合わせて24名の保護者が各チェックポイントにおける指導をしてくださいました。おかげ様で、安全に自転車教室を実施することができるとともに、きめ細かい充実した指導を子供たちは受けることができました。

また、11日（火）から始まった**プールでの学習**においては、4年生や1年生の保護者にプールサイドでの見守りを手伝っていただいている。職員室



の教職員だけでは手が足りないところを助けていただき、子供たちが安心してプールでの学習を実施することができます。

ご支援いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。サポートティーチャーの活動を見ていると、**子供たちは笑顔に、参加された保護者の方も子供たちとの距離が縮まり、笑顔でお帰りいただくことが多い**ように感じています。

5月に募集させていただいた「サポートティーチャー」の名簿には**26名の保護者**を登録させていただきました。今後、様々な活動でお声がけさせていただこうと考えています。ご自身の子供の在籍する学年を基本としますが、分野によっては他学年でお願いすることもあるかもしれません。もし、ご都合がつくようであれば、今後とも子供たちの充実した教育活動のために、ご支援をいただければ大変助かります。どうぞよろしくお願ひいたします。

